

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ベガサスレスバイトケアセンター		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 5日		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2024年 8月 5日		2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 8月 5日		2024年 8月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	20件	(回答数) 16件
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師・保育士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師など多くの職種が複数在籍しており、利用希望者のニーズの応じて支援を行っている。	初回訪問時に可能な限り、訪問担当者が保護者と子どもに直接会うようにしている。	専門が2分野で必要であることも多く、今後はますます多職種で訪問を提案していく
2	ベガサスこどもデイセンター、ベガサスこどもデイセンター福泉、ベガサスレスバイトケアセンターと法人内で3事業所あるので円滑な受け入れ調整を行っている。	行動観察及び、必要に応じて発達検査を施行するなどしてアセスメントを行っている。また、こどもや保護者のニーズや意向等を細かく伺った上で、支援計画の作成にあたっている。	
3		複数の職員が支援にあたる際には、役割分担や情報共有を行い、連携して支援を行っている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との連携。	保育所等訪問支援のサービスの情報が浸透していない。	必要に応じて担当者会議の提案をし、支援計画を共有し、支援の方向性を統一していく。
2		訪問するごとや担当者会議で訪問先施設の意向を確認している。その上で計画書の作成をしているが、個人情報の取り扱いの観点で保護者を通じてのやりとりとなりことも多く、訪問先施設の本音が反映されていない部分もあると考える。	
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	ヘガサストレスバイトケアセンター				公表日	2024年 月 日		
					利用児童数	22名		
						回収数	15名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6	1	1	7			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6	1		8			
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14	1					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13	1	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	11	1		3	まだ始めたばかりで、専門職として他の部門も連携しながら、支援してほしいです。		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			2			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12			2			
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	11			4			
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1		4			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1			
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13			1			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			1			
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1	3				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		6	7			
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	13	1	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			1			
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			3			
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13			2			
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13	1		1				

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14			1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	5	6		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1		1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8	2		5		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			4		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15					
	28	事業所の支援に満足していますか。	14			1		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2024 年 9 月 13 日

ペガサスレスパイトケアセンター

利用児童数 2024 年 9 月 13 日 回収数 16件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	5		助言や説明は特に受けていない。授業を見ての感想を伝えて下さるので、次はこのようにしてみようと思える。説明も具体的でわかりやすい。	助言や説明不足になっている場合もあるかと思えます。限られた時間で一緒に関わり等を考えていきたいと思ひ
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11	4	1	聞いたに知らなかったことを教えて頂けるので嬉しい。いつも褒めて頂きありがとうございます。ゆっくりとお話を伺う時間がないので気になったり、別の方法が良いと感じられた場合はその都度教えて頂きたく思ひます。	時間に限りもありますので、ゆっくりというのは難しいと思ひます。気になる事、助言等あればその都度させて頂きたいと思ひます。関係機関で共有する場合は担当者会議の提案の考えていきたいと思ひます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	13	3		質問した時に具体的に教えてもらえる。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	7	2	月1回の訪問支援であり、話す時間も限られているため、課題や困りごとがすべて聞くことができない。困りごとと共に感じて頂けるのですが、その先につながる事が少ないように思ひます。	月1度で限られた時間になります。小さな一歩の積み重ねが将来につながるようになるように支援させて頂きま
5	事業所からの支援に満足していますか。	10	5	1	子どもの様子を継続的に見て下さっているの、客観的な意見を下さる。今まで本児の様子を見て頂くことが中心になっていたのですが、本児が集団の中でより力を発揮できる方法を今後活用したいので、教えて頂きたいです。学校での支援を家庭にもつなげてほしいので、家庭への助言もお願ひしたい。	家庭での様子を保護者からも情報を得ていますので、学校との情報と共に関わりや学習面等の助言は必要時やっていきたいと思ひます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
支援学級を利用しているの、支援学級の担任と話すことが多いので、通常の学級の授業を見た時には学級担任とも話を頂けるとありがたい。保護者が気にしていたり、見てほしい場面と園が見て欲しい場面が違ふことがあります。進学に向けて集団での課題を共した上でサービス利用計画書に基づいて皆でしていきたく思ひます。第3者から見た児童の授業の様子を分析してもらえてとても助かっています。困りごとにも相談のって頂けるので有難い。訪問日数が限られているのですぐに変化は難しいが、家の方が学校以外の先生から学校の様子を聞けるのはよいと思ひます。たくさんの人で関わって色んな視点で子どもを見ていくのはよいことだと思ひます。毎月来て下さることで子どもの特性や性格なども理解して下さり、すっかりなついています。たくさんアドバイス頂ひています。保護者支援がメインですが連携をとって頂ひたおかげで少しずつ前進しています。療育を受ける子どもにとってメリットがあると思ひるので受け入れています。担任、保育士と育ちについて共有する時間も限られているので中途半端な状態です。園での様子を、困りごとを伝えることが主な内容で助言を頂けるのは少ないです。園での様子のみを頂き、保護者さんに伝えることが目的で来られるのかな?と思ひましたが、保護者さんに聞くと訪問後の連絡はもらっていないのことで、訪問支援の目的は何なのか?					時間が限られているので、通常級の担任の先生と話す時間が難しい場合もありますが、今後は時間を作っていきたく思ひます。保護者の意見だけではなく、園などの訪問先の思ひも聞き訪問日程を調整させて頂きたいと思ひます。必要に応じて担当者会議開催の提案もさせて頂き、支援計画について共有していきたく思ひます。限られた時間の中で適切な助言や気づきなどの共有をできるよう訪問支援員と考えていきたく思ひます。就労で連絡が困難な保護者様もおられます。訪問日から報告まで数日から1週間かかる場合もあります。保護者様のご意向を確認して、報告の連絡手段として訪問連絡ノートを使うことも提案させて頂ひているケースもあります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ヘカサスレスパイトケアセンター		公表日		2024 年 9 月 13 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	9		教具・教材を使用しないことが多いが、必要時には保護者や訪問先施設とも相談しながら作成することになっている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		看護師・保育士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理士など多くの職種が複数在籍しており、利用希望者のニーズに応じて支援を行っているなど、適切であると考えられる。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3	PDCAサイクルを用いてはいないが、訪問するごとに必要であれば事業所で目標の見直しや支援のほうほうについて検討している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	5	今回保護者向けの評価表実施。支援後に報告を行う際に、毎回保護者の意向等を聴取し、支援内容や業務改善につなげるようにしている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		訪問するごとに文書や口頭で情報を確認し、職員間で話し合い業務につなげている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	現在のところ、第三者による外部評価は受けていない。今後そのような機会があれば、積極的に受け、助言等を頂きたい。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	常に確保されている。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	8	1	行動観察及び、必要に応じて発達検査を施行するなどしてアセスメントを行っている。また、子どもや保護者のニーズや意向等を細かく伺った上で、支援計画の作成にあたっている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		子どもの支援に関わる職員らでアセスメントを行い、支援計画の作成にあたっている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	9		訪問するごとや担当者会議で訪問先施設の意向を確認している。その上で計画書の作成をしているが、個人情報取り扱いの観点で保護者を通じてのやりとりとなりことも多く、訪問先施設の本音が反映されていない部分もあると考える。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		作成した支援計画は職員間で共有し、計画に沿って支援を行っている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		適応行動の状況について、標準化されたツールは用いていないが、行動観察によるアセスメントは行っている。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインを踏まえ、支援内容を検討している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		上記11と同じ		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	複数の職員が支援にあたる際には、役割分担や情報共有を行い、連携して支援を行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	訪問するごとに管理者に報告を行っている。多職種の支援者がいる場合はその職員とも情報共有している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	9		訪問先の理念や子どもに関わる職員の支援手法を尊重した上で、支援に有効であると考えられる方法等については、提案や助言を行うようにしている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	9		記録をとり、支援の検証・改善につなげている。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		訪問するごとに保護者とやりとりしている。訪問先施設とも基本的には毎回やりとりを行っている。その上で適切に見直しをしている。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		訪問担当者が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	必要な関係機関とは、その都度連携を図っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		保護者と話し合い、同意を得て情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	2	必要な研修は受けられるようにしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	3	6	参加していないが、参加の必要があれば参加したいと考える。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		保護者からの相談は、いつでも受け付けている。また、訪問支援後には必ず保護者に報告を行い、情報共有を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	現時点では、家族支援プログラムや研修の機会は特に設けていないが、今後実施を検討したいと考える。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	9		行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		初回訪問時に可能な限り、訪問担当者が保護者と子どもに直接会うようにしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	9		同意を得て実施している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	9		訪問の報告をした際に悩みや相談について支援を行ったり、保護者からの連絡があった際にはその都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5	保育所等訪問支援を利用している保護者同士の交流については、保護者からの希望はなく、また発達状況や年齢も異なり、交流自体が難しい面もあり、現時点では積極的にこれらの機会を設けることは考えていない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		子どもや保護者からの相談や申し入れがあった際には、迅速に対応するようにしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	4	保護者には、訪問ごとに報告を行っており、通信等の発行は行っていない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		留意し、適切に管理している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		保護者に障害がある場合、同意を得た伝わりやすい方法で報告するようにしている。子どもの意思疎通もその子の特徴に合った適切な方法で行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	8		訪問先施設とのやりとりは随時行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	8		訪問先の担当保育士や担当教員に時間をとってもらい、話すようにしている。先方から希望があれば、別室で時間をとって複数の保育士や教員と話す時間を設けることもある。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	8		原則として電話で共有するようにしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		留意している。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	8		訪問先との信頼関係を築くことができるように紹介し、必要に応じて相談に応じたり、助言を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	法人内のマニュアルを遵守し、定期的に研修を受けている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全管理は十分に留意している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		法人内のヒヤリハットを共有し、再発防止に向けた対応を検討する体制が整っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		適切に行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	3	保育所等訪問支援では身体拘束を行うことがないため、該当せず。	